12 月 1 日 手帳の日

翌年分の新しい手帳を準備する時期であることから「能率手帳」を発刊している日本能率協会マネジメントセンターが 1999 年に制定しました。

1949 年、初めて時間目盛りを入れた「能率手帳」が誕生しました。一日でも時間刻み、分刻みで予定が入る、忙しい人のための手帳ということでしょうか。

日本の生産能率指導に携わっていた日本能率協会の理事で、コンサルタントの大野巌氏が発案したことから作られました。それまでの手帳は備忘録程度で使われており手帳で仕事の管理をするという考え方はなかったそうです。時間を経営資源と捉え、時間管理の思想を意識づけた点で能率手帳は高く評価されました。

能率手帳は 2013 年から新ブランド NOLTY に代わりました。時間を管理して能率よく働くために手帳を上手に使うノウハウもいろいろあるようです。

能率手帳の大きさは、当時、主な通信手段が郵便だったため、官製はがきを手帳に挟むことができる大きさとして決定されました。手帳と言えば、ポケットに入る小型のものを思い浮かべますが、スケジュール管理という目的からは、もっと大きいものもあるようです。

バインダー方式で好みの機能を持つリフィルを差し替えることができるシステム手帳は 1984 年に Filofax が正式に発売されたときには、大いに話題になりました。このシステム手帳は、第一次世界大戦の反省から生まれたものだとか。

野口悠紀雄一橋大学教授が 1996 年に考案した「超」整理手帳も話題の手帳です。A4 横四つ折というサイズで広げれば 1 ヶ月のスケジュールを一覧することが出来ます。

2001 年春にプロジェクトが開始し 2001 年冬に初年版となる「ほぼ日手帳 2002」が発行されました。「ほぼ日刊イトイ新聞」を発行している糸井重里氏を発行人としています。1 日 1 ページでフリースペースが多いので、ほぼ日記のように使えます。

そもそも手帳とは、いつも手もとに置いて心覚えのためにさまざまの事柄を記入する小形の帳面です。生徒手帳のように身分を証明する機能のものや、母子手帳、献血手帳といったものもあります。メモする機能がなくなっても警察手帳というのは、身分証明のためのものというイメージがありますね。

来年の手帳は、もうご用意されましたか。文具売り場、書店、雑貨店など色とりどりで、機能満載の手帳が並んでいるので目移りがします。自慢じゃないけど、おっちゃんの手帳はすごいです。スケジュールがびっしりで、重要度に応じてボールペンの色を変えて記載しているので結構きれいです。

今日から師走。1 年があっという間に終わってしまいます。

12 月 2 日 1971 年ペルシャ湾岸の 6 つの首長国によりアラブ首長国連邦が成立しました。

首長国は、イスラム世界の君主の称号の一つである「首長（アミール）」が君臨する国家のことで、首長が絶対的な権力を持つ絶対君主制を基本とした国のことです。湾岸戦争後、バーレーンのように立憲君主制を採用する国もあります。

日本で首長といえば知事、市町村長を含めた地方自治体のトップのことですが、イスラム教国の「首長（アミール）は「司令官」「総督」を意味し、王族、貴人の称号でもあります。世襲制で絶対的な権力をもっています。

アラブ首長国連邦はアブダビ、ドバイ、シャールジャ、アジュマーン、ウンム・アル＝カイワイン、フジャイラの各首長国が集合して、連邦を建国しました。翌 1972 年にはイランとの領土問題で他首長国と関係がこじれていたラアス・アル＝ハイマが加入し 7 つの首長国が集まったものです。

連邦の最高意思決定機関は連邦最高評議会で、連邦を構成する 7 首長国の首長で構成されます。

国家元首である大統領、および首相を兼任する副大統領は連邦最高評議会により選出されることとなっているが、実際には大統領はアブダビ首長のナヒヤーン家、副大統領はドバイ首長のマクトゥーム家が世襲により継承しています。

議会は一院制の連邦国民評議会で、定数は 40。議員は連邦を構成する各首長国首長が任命するそうですから、国民の意思によるものではないようです。

アラブ首長国連邦はイスラム教の国の中でもアラブ色の強い国で、服装も男性はカンドゥーラと呼ばれる長いシャツドレスと、グドラと言われるヘッドスカーフをつけ、女性はアバヤ という体のラインが見えないような黒い衣装と、シェイラ というスカーフで頭を覆うようです。

外国人も多い国なので、アルコールや豚肉も比較的容易に手に入るようですが、やはり戒律の厳しいイスラム教国には違いありません。

一昨年には安倍首相も訪問して、ムハンマド・アブダビ皇太子、ムハンマド UAE 副大統領兼首相と会談しています。「日本とアラブ首長国連邦との間の安定と繁栄に向けた包括的パートナーシップの強化に関する共同声明」が表明されました。去年はムハンマド・アブダビ皇太子が公賓として来日されました。

アブダビやドバイは都市の名前でもありますが、アラブ首長国連邦を構成する国でもあったのですね。

12 月 3 日 1926 年 改造社が 1 冊 1 円の『現代日本文学全集』の刊行を始めました。

関東大震災によって大きな被害を受け倒産寸前だった改造社の社長山本実彦氏は一冊一円、薄利多売、全巻予約制、月一冊配本の『現代日本文学全集』の刊行に社運を賭けました。

自己資金を持たない自転車操業的な企画でしたが期待を遙かに上回る 23 万の予約があり、そのお金 23 万円が出版資金となって経営が回復しました。記念すべき第 1 回配本は「尾崎紅葉全集」でした。当初は全 37 巻別巻 1 冊の予定でしたが、好評だったので、最終的に全 62 巻別巻 1 冊に拡大しました。それまで経済的に困窮して

いた作家たちの生活も大いに潤ったそうです。

この成功に気を良くした改造社はもちろん、他の出版社からも続々と一冊一円の全集が発売され、「「」ブーム」となりました。100 種類以上の全集が発行されたそうです。「円本」の名前の由来は、1925 年大阪、1927 年東京に登場した市内 1 円均一の『円タク』から、派生したと言われています。

円本は他に、新潮社から「世界文学全集」、春秋社から「世界大思想全集」、春陽社から「明治大正文学全集」、平凡社から「世界美術全集」などが出版されました。「日本児童文庫」、「小学生全集」と言うのもあり、これらは 1 円より安かったそうです。競合する全集は宣伝合戦も激しく、泥試合の様相だったそうです。

当時の 1 円は大卒の初任給の 2％ぐらいに相当するそうなので、今ならだいたい 4,000 円ぐらいでしょうか。あまり安い金額でもなさそうですが、当時の書籍は高かったので 4,000 円なら廉価ということでしょう。

この円本ブームは 1930 年ぐらいには鎮静化しました。それぞれの全集が 40～60 巻程度だったようなので、3 年から 5 年毎月発行されて終わったという感じでしょう。

ところで 1927 年には岩波書店から文庫本が発行されています。文庫本は現在でも確立された出版形態ですが、明治期に読者が全体をまとめて購入する事が期待され、また全巻が購入される事によって文庫と呼ばれるにふさわしいようなコレクションになるように企画された叢書、全集のシリーズ名として用いられていました。発想としては円本と似ています。

最近は本が売れない時代だそうで、今年もっとも売り上げのあったのが、お笑いタレントの又吉直樹氏が芥川賞を受賞した「花火」の 240 万部だそうです。簡単に比べられませんが、新潮社の「世界文学全集」が 1 冊 4,000 円で全 57 巻、40 万部も売れるなんて想像も出来ないことです。

月に 1 冊発行なので、全集を揃えるもの大変だったと思いますが、当時の人々の読書熱、本に対するステータス意識もあったのかも知れません。そうした影響なのか昭和 1 桁生まれの人は全集が好きなのだとか。

古い家だとお祖父さんが買い揃えた文学全集やら美術全集やら、百科事典など必ずあるでしょうね。出版業界がウハウハ言うような、ヒットする本やら企画は、今後出現するのでしょうか。やっぱり電子書籍の時代になっていくのでしょうか。あたたかい紙の手触りやインクの匂い、悪くないのですがね。

12 月 4 日 1965 年 日本科学者会議が結成されました。

戦後、進歩的な文化人や一般市民、学生などが加入して、民主主義科学の発展をはかる目的で民主主義科学者協会が設立されましたが、その会が崩壊したことで、科学者の全国組織を望む声が高まり設立されたのが、日本科学者会議（日科）でした。

民主主義科学者協会（民科）は、専門分野が宗教、哲学、歴史、水産、経済、農業、教育、心理、言語科学、法律、政治、婦人問題、芸術、生物学、地学団体研究（地団研）、自然科学など多岐にわたっていました。民科の名前からも想像できますが、戦争によって思想が統制され、科学技術が平和でないものに利用され、日本は世界か

ら大きく取り残されてしまった反省があったと思います。

日科の設立趣意を見れば、「科学を人類に役立て正しく発展させるようにするためには、何よりも科学研究に携わる科学者がその社会的責任を自覚し、科学の各分野を総合的に発展させ、その成果を平和的に利用するよう社会に働きかけねばなりません。」と書かれています。

伝統的に公害環境問題、食糧問題、原子力問題、災害問題などの分野で積極的に活動しており、近年では生命倫理研究分野でも活発な動きがみられます。ノーベル物理学賞を受賞した益川敏英氏が、憲法九条擁護や科学振興政策などの点で同会議のスタンスに近いことから会の機関誌に度々登場しているそうです。

各都道府県に支部があり、岡山も岡山大学を中心にして活動しています。月に 1 回例会が開かれ「よもやま話の会」と称して、講演も行われるようです。

核兵器開発の結果家になる提言をしたという反省からアインシュタインがパグウォッシュ会議を創設したように、科学者は冷静で的確な視野で判断しなければ、科学技術が戦争に使われる可能性が大いにあります。また、自らの意志とは別の利用に供されることもあるかもしれません。

とかく狭い研究室で専門の研究に没頭する科学者が、ひろい視野をもち見聞を広げるために創設された日本科学者会議だったようです。

12 月 5 日 国際ボランティア・デー

「国際ボランティア・デー」は 1985 年に国連によって定められた記念日で、世界の平和と開発の実現のために活動する世界中のボランティアの意義を認知し、推進することを目的としています。

国際ボランティアと言えば、難民、貧困、人権、衛生、水不足、環境悪化などの国際的な問題に対し、困難な状況にある人々を支援したり、協力したりする個人や NGO、NPO のことです。国際協力機構による青年海外協力隊や日系社会青年ボランティアなども含まれます。

国連ボランティア計画（UNV）は､国連開発計画（UNDP）の下部組織として 1970 年の国連総会決議によって創設されました。UNV は、活動を開始した 1971 年から、開発途上国における開発支援や紛争地域での緊急援助、その後の平和構築活動などに貢献する意志のある市民を世界中から募り、各国政府や国連機関、ＮＧＯなどの要請に応じて「国連ボランティア」として現地に派遣してきました。現在までに 3 万人を超える国連ボランティアが、世界約 130 カ国において任務を遂行しました。

国際的なボランティアとなれば、言葉の問題、生活習慣風俗の違いなどあって、簡単にできるというわけではありませんが、身近なところにもボランティア活動はあります。

ボランティア活動は、活動が行われている地域社会やです。ボランティア活動を行う人自身に恩恵をもたらすだけでなく、社会的にも経済的にも大きな貢献を成しうるものです。また人と人の間に信頼と助け合いの精神を育み、地域社会の結束を強める効果があったりもします。

ボランティア活動は他者に対して手助けする一方、活動者自身の生活も変化することがあります。社会参加を実感できることで、自分に自信がもてるようになったり、自らの意外な能力や個性に気付いたりすることがあります。社会生活の中で生きていく人間は、やはり人と人との係わり合いで成長し、心のバランスを保っていくという一面もあります。

ボランティアは困っている人（弱者）を、助ける人（強者）という上下関係ではなく、お互い様という対等な関係であってこそ、よい活動ができるものです。まさに「情けは人のためならず」。人のために自分が出来ること・・・何かあるはずですね。

12 月 6 日 1900 年 時枝誠記氏が生まれました。

時枝誠記氏は生まれは東京ですが、岡山の第六高等学校を経て東京帝国大学文学部国文科卒業しました。当時の国語学は、歴史や文献からの研究が主流でしたが、時枝はその中で言語理論の研究に取り組みました。卒業論文は「日本に於ける言語意識の発達及び言語研究の目的と其の方法」でした。

1927 年京城帝大助教授、33 年教授になり、1943 年には東京大学教授となりました。朝鮮に勤務していたときは、積極的に日本語の普及をすすめていたようです。戦後は、国語審議会メンバーとして当用漢字表（1850 字）と現代かなづかい、音訓の整理と併せて義務教育必修漢字の範囲（881 字）の制定に関わりました。

時枝氏は、明治になってから日本語の捉え方が日本に伝来した西欧の言語観に基づいた「ソシュールの言語観」に拠ることに反対の立場をとり、「言語過程説」を提唱しました。

言語過程説では、言語は表現するための過程であり、理解するための過程であると考え、人間の行為・活動・生活の一つとしています。言語の成立条件は、「主体」「場面」「素材」の三つとし、「主体」は書き手と読み手もしくは話し手と聞き手、「場面」は表現、理解過程が行われる状況、「素材」は表現内容・理解内容のことです。

言語は、「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」の四つの形態のどちらにおいても成立し、言語習得のためには、それぞれの分野の技術が必要となります。言語を研究するということは、「主体的立場」を観察することだと考えました。

まあ、当たり前のようでもあるし、非常に難しい理論のようでもあります。時枝氏の考え方で言えば、言語は絵画・音楽・舞踊と等しく、人間の表現活動の一つと言うことになります。また、どんな言葉を選択して発音するかも、表現だとすれば、言葉は、まるで衣服のように、その人を現すものともいえましょう。

どのような言葉を使うかで、人間性まで評価されると言うことにもなります。逆に言えば、どんな人間に見られたいかによって、使う言葉も変えなければならないということです。

一朝一夕に言葉遣いは変える事は出来ない気がしますので、日ごろから言葉使いをおろそかにしないことが大切かもしれません。

12 月 7 日 1881 年 紅綬・緑綬・藍綬の褒章が定められました。

日本で最初に褒章制度が確立されたときには、紅綬・緑綬・藍綬の 3 種類でしたが、現在では紅綬褒章、緑綬褒章、黄綬褒章、紫綬褒章、藍綬褒章、紺綬褒章の 6 種類があります。

褒章はメダル本体の“章”、章を吊るして衣服に取り付けるための“綬”（リボン）、章と綬を繋ぐ“鈕”、および綬に取り付ける“飾版”からなりたち、このリボンの色が違うことで、紅、緑、黄、紫、藍、紺と区別されるようです。章は銀製で、桜花紋円形で中心に「褒章」の二字が置かれた、直径 30mm のメダルです。裏側は紺綬褒章の場合を除いて「賜」の文字と氏名が記されます。

褒章は、社会や公共の福祉、文化などに貢献した者を顕彰する日本の栄典の一つ、そして勲章は長年にわたる功績を対象とすると少し違っています。褒章は、勲章の対象とはなりにくいが、顕著な功績と認められるものに対して授与されるとのことなので、勲章には及ばないが、顕著な功績に授与されるものです。また勲章は原則 70 歳以上の人に与えられるようです。

勲章も褒章も衆議院議長、参議院議長、国立国会図書館長、最高裁判所長官、内閣総理大臣、各省大臣、会計検査院長、人事院総裁、宮内庁長官及び内閣府に置かれる外局の長（公正取引委員会委員長、国家公安委員会委員長、金融庁長官、消費者庁長官）から、内閣総理大臣に対して、受章候補者の推薦が行われます。

次に、内閣総理大臣がこの候補者を審査して、閣議決定が行われるのは、同じのようですが、勲章の場合は天皇に上奏して裁可を得た上で発令されるとなっています。栄典を所管するのは内閣府であり、事務執行機関として賞勲局が行います。

褒章には、メダルとともに褒章の記が授与され、受章者・表彰者の氏名または名称、受章・表彰理由、授与・表彰の年月日と記号番号、天皇の名で授与・表彰する旨が記されて国璽が押され、内閣総理大臣と内閣府賞勲局長が署名・押印します。

また褒章には、知事褒章といって知事による表彰として褒賞を授与する制度もあります。それら都道府県の「褒章」は正確には「褒章」ではなく「褒賞」で、授与される記章も記念章なので、国の褒章とは異なります。

春、秋の叙勲で、勲章や褒章の発表がありますが、いろいろあるのだなという感じで、あまり詳しく知ることもありませんでした。まあ、これからも、あまり関係はないだろうと思いますが、すこし整理できてすっきりしました。いや、それでも人命救助や永年勤続などで褒章受賞の可能性がないわけではなりませんから、日々精進するに越したことはないですね。

12 月 8 日 2005 年東京・秋葉原に「秋葉原 48 劇場」（現:AKB48 劇場）がオープンしました。

今さら説明には及ばないのですが、AKB は「会いに行けるアイドル」というコンセプトで結成され、「時代の一番エネルギーのある場所」ということでオタク系・萌え系の若者であふれた秋葉原に劇場を構えたアイドルグループです。

秋葉原といえば、かつて電気製品、電気器具などのお店が集まるところとして知られていましたが、電気器具→パソコン→オタク→アニメ→萌えといった感じなのか、プロデューサーの秋元康氏は新人アイドルの熱狂的なファンを作るには最適な立地と考えたようです。

AKB 劇場はドンキホーテビルの８階にあり、この場所はエスカレータ等の上部階への輸送能力が低くドン・キホーテとして営業しても収益が得にくいフロアだったようです。照明を設置するにも適当に天井が高かったことで、ドン・キホーテ側も AKB 側にもちょうど良かったようです。

メンバーの顔も名前も分からなくても、「AKB」というグループが存在することは多くの人が知っているし、もちろん熱狂的なファンも大勢います。また AKB48 以外にも SKE48、NMB48、SDN48 となんだか同じようなグループがあることも知られています。

注目すべきは、こうしたグループの売り込み方、戦略です。ＡＫＢ４８劇場オープンの日の観客はわずか７人だったそうですが、秋元氏は「このままでいい」と、特に手を打つことをしなかったと言います。

秋元氏によれば、ＡＫＢ４８を「高校野球」に例えれば、プロのようなテクニックはないが、平凡なゴロでも全力疾走し、ヘッドスライディングする、ファンはそんなメンバーたちを温かく見守り、熱い声援を送るスタンドの観客と同じだと。熱いプレーに感動するのと同じように、頑張る少女たちに必ずファンがつくという自信があったようです。

秋元氏は「自分がおもしろいと思うのが正解で、根拠なんか要らない」だから慌てて何か変えなくても、いつか「その時」が来ると思っていたそうです。そしてその思惑通りスタート時に７人だった観客は、７年目の２０１２年８月には、東京ドームで３夜連続の公演を行うまでになりました。

また AKB の戦略はコンテンツマーケティングとして外国も含めて各地で広がっています。コンテンツマーケティングは近年注目されているビジネスフォームですが、日本ではアニメやゲーム等のコンテンツ産業を海外に売り込むことを指す場合もありますが、本来は企業がコンテンツつまり、編集された情報により消費者とコミュニケーションすることを意味するそうです。

もっと言えば、多分・・・・パソコンで何か商品を検索すれば、その商品がことあるごとに画面に現われるようになるとか、性別、年齢や趣向、住んでいる地域など限定された情報や宣伝が、なにかしら、どこかしらに現われるというアレかなと思われます。

それと AKB がどのように結びついていくのか・・・「自分たちの AKB48」というコミュニティ形成のために、「AKB 総選挙」や「じゃんけん大会」を企画し、運営側とファン側が「ゆるく交われる感じ」を強調したことでしょう。公演に行く、握手会に行く、話す、覚えてもらう、やりとりを通じて誰かを好きになる、誰かを応援したくなる。まさに、身近で、自分のことを知ってくれているという感覚。

メンバーにとっても選挙なんかされたら残酷で、ファンに知ってもらうためのあらゆる工夫やらアピールに余念がないことでしょう。そうした地道な積み上げも、×48 ですから、このアイドルの底力は凄まじいものがあるのでしょうね。

12 月 9 日 2003 年 日本の火星探査機「のぞみ」の火星周回軌道投入を断念しました。

一昨日 7 日には金星探査機「あかつき」が予定を 5 年経過して、再び周回軌道投入に挑戦し、成功したのではないかと考えられています。2 日後には正確な軌道を飛行しているかどうか確認して発表するとのことですが、まさに今日です。

また１２月 9 日と言えば、2005 年に小惑星探査機「はやぶさ」との通信が途絶した日でもあります。2003 年、2005 年、2010 年と JAXA も黒星が続きましたが、「はやぶさ 1 号」は、感動的な帰還を果たしましたし、１２月 3 日には「はやぶさ 2 号」が無事にスイングバイを行って目的地の小惑星「リュウグウ(竜宮)」へ加速しました。今回の「あかつき」もなんとか金星周回軌道投入に成功して（？）、名誉挽回、面目躍如といったところです。

今、人気のテレビドラマ「下町ロケット」を見ていたら、こうしたロケットの部品は非常に高度な技術と精密な作業が必要なようです。傷ひとつ、チリひとつが命取り、ロケットはうまく飛ばないのですね。「はやぶさ」にしても「あかつき」にしても、何年という長いスパンで再挑戦を試みるという宇宙開発事業の地道さを感じます。まあ何百億円という費用がかかっているので「あれ、失敗？さあ、次」というわけにはいかないのですが。

ところで、「のぞみ」は観測機としての機能が全て停止されミッションは終了しました。現在も火星とほぼ同じ太陽を中心とする軌道をまわり続けると考えられています。多額の費用を必要とする火星探査に国民の理解を深めてもらうために、「のぞみ」には日本全国から寄せられた名前が搭載されていました。

1 万人分も集まればよいだろうと見込んでいた応募でしたが、実際には 27 万 694 人分にも及びました。そのため宇宙科学研究所では全職員で連日連夜はがきから名前を切り抜く作業を行ったそうです。このエピソードは映画「はやぶさ／HAYABUSA」でも取り上げられていましたが、「のぞみ」の失敗が「はやぶさ」の改良に生かされたのですね。

現在でも宇宙を飛んでいる「のぞみ」に搭載された 27 万人の名前には、応募のときのハガキに書かれたみんなの願いがあります。あつ男の子は 「いつまでもおじいちゃんといっしょにいたい」と書き、まらある女性は「昨年亡くなった私の 1 歳の赤ちゃんの名前です。本当の星にしてやってください」と書いていたそうです。

「あかつき」の担当者は「意外と頑丈だ」と言ったように、たぶん「のぞみ」も元気で宇宙を回ることでしょう。みんなの願いをのせて、まさに「のぞみ」です。

12 月 10 日 2007 年 改正遺失物法が施行されました。

1899 年に制定された遺失物法が現状の遺失物の取り扱いにそぐわないことと、表記を現代用語化することを理由に全部改正された新しい遺失物法が施行されることになりました。

「お財布を拾ったら交番に届ける」、小さな子供でも知っていることですが、これは明治時代に定められて遺失物法に定められたことです。外国人が日本に旅行でやってきて、亡くした物が高い確率で見つかることに驚くそ

うですが、それは正直で道徳心のある日本人という面もあるでしょうが、法律に基づいた教育の徹底もあるのだろうと思います。

2007 年の遺失物法の改定では、それまで 6 ヶ月だった保管期間が 3 ヶ月に短縮され、遺失物に関する情報はインターネットなどでも公開されるようになりました。

また特例施設占有者の制度が設けられ、たとえば鉄道などの駅、空港、デパートや遊園地といった不特定多数の人が利用する施設は、警察に代わって遺失物の保管や保管期間の過ぎたものの処分ができるようになりました。そして傘、衣類、自転車などは 2 週間以内に遺失者が判明しない場合売却できることになりました。

落とし主が見つからないものは、拾った人のものになるというのは従来どおりですが、携帯電話やカードのような個人情報が入ったものは拾った人の物にはならなくなりました。

「拾ったら 1 割もらえる」と言われますが、正確には同法 28 条 1 項の「物件の返還を受ける遺失者は、当該物件の価格の 100 の 5 以上 100 分の 20 以下に相当する額の報労金を拾得者に支払わなければならない」という規定があるからです。5%と 20%の間をとって一般に「拾ったら 1 割」と言われているようです。有価証券の場合や宝飾品などは「1 割」の判定は難しいようですが・・・。

そういえば、まだ幼い頃道で 1000 円札を拾ったことがあります。はだか札でしたが子供には大金で「これは大変！」と思いました。警察署なんて行ったこともなかったのですが、お札をそのまま持っていることさえ緊張するので、一人でおまわりさんに渡しに行きました。結局、落とし主は見つからなくて、保管期間が過ぎたころハガキで通知がきました。たかが 1000 円のことですが、とても緊張したのでしょう。忘れられない思い出です。

12 月 11 日 1946 年国際連合児童基金（UNICEF）が発足しました。

ユニセフは国連国際児童緊急基金（ United Nations International Children's Emergency Fund）という名称で、第二次世界大戦で被災した国々の子どもたちの支援のために、緊急的活動を行う目的で設立された一時的な機関として設立されたものでした。

よく知られているのは日本も 1949 年から 1964 年にかけて、主に脱脂粉乳や医薬品、原綿などの援助を受けたということです。年配の方なら給食の脱脂粉乳は記憶にあるかもしれません。

緊急援助が、行き渡るのにしたがって次第に活動範囲を広げて 1953 年に正式名称が現在のものに変更されました。国際連合児童基金なら（ United Nations Children's Fund）ですが、ユニセフの呼び名は継承されています。

現在は、開発途上国・戦争や内戦で被害を受けている国の子供の支援を活動の中心としているほか、「児童の権利に関する条約)」の普及活動にも努めています。かつては物資の援助を主な活動としていましたが、生活の自立がなければいくら援助しても状況は変わらないとして、栄養知識などの親に対する啓発活動にも力を入れています。

ユニセフ国際親善大使 として黒柳徹子さんが任命されていることは有名です。またユニセフ国内委員会大使と

して日野原重明氏とアグネス・チャンさんが活動しています。黒柳さんは国際連合児童基金から直接任命されていますが、ユニセフ国内委員会大使は日本ユニセフ協会によって任命されます。

UNICEF の日本政府、韓国政府を担当しているのがユニセフ東京事務所で国連ユニセフ直轄の組織です。ユニセフは、各国政府からの供託金に関わる調整は自ら行いますが、民間からの寄付金集めについては、ユニセフは自ら行わず協力団体にその業務を委託しています。それが日本ユニセフ協会で小文字の unicef をロゴマークに使っています。

1949 年 8 月、当時の占領軍司令部内に設けられたユニセフ駐日代表部は、日常の職務に追われ、日本全国から寄せられる数多くの礼状、写生画などの整理まで行き届かず、財団法人日本国際連合協会に支援を求めました。

同協会の呼び掛けに応じて、集まったボランティアの女性達は、ユニセフ代表部において数ヶ月にわたって奉仕を続けましたが、その間、ユニセフへの協力を今後も継続したいと考えるようになり、1950 年に任意団体として日本ユニセフ協会が設立されました。その後 1955 年に財団法人として日本ユニセフ協会が発足しました。

ユニセフにしろ、ユネスコにしろ、赤十字にしろ、国際的な組織で活動の趣旨には非常に崇高なものがあるにも関わらず、募金などに関しては各国の協力団体に委ねられているようです。募金の使途に不透明なところがあるとしばしば耳にします。

浄財が無駄にされることがあってはいけませんが、こうした団体を維持するには、分かりにくい出費があることも事実です。お金がどのように使われるかだけに捉われるのではなく、誰かの役に立って欲しいという純粋な気持ちを尊重したいものです。

12 月 12 日 バッテリーの日

日本蓄電池工業会(現在の電池工業会)が 1985 年に「カーバッテリーの日」として制定されました。1991 年に「バッテリーの日」と名称を変更しました。また、野球のバッテリーの守備位置が数字で 1，2 とあらわされることから、セ・パ両リーグから最優秀バッテリー1 組ずつを選考し表彰しています。

「2015 プロ野球最優秀バッテリー賞」はセリーグからは、ヤクルトの石川雅規投手 と中村悠平捕手 、パリーグからは北海道日本ハムファイターズの大谷翔平投手と大野奨太捕手が選出されましたね。これはスポーツニッポンと電池工業会の共催により、優勝などのチーム成績に関係なく「最強のバッテリー」を選ぶ賞です。

スポーツニッポン新聞社専属評論家等による選考委員会により、両リーグから各 1 組のバッテリーが選ばれ、受賞者には賞金 100 万円と副賞として乾電池一年分やカーバッテリーがそれぞれ贈られます。まれに著しい活躍をした選手が特別賞として表彰されることもあります。

ちなみに、このバッテリー賞をもっとも多く受賞したのは西口文也投手と伊東勤捕手のバッテリーで 3 回受賞しています。また、捕手では古田敦也選手、伊東勤選手、阿部慎之助選手がそれぞれ 6 回受賞しています。

バッテリーと言えば、電池や蓄電池のことを言いますね。タブレットやノートパソコン、携帯電話、そして自動車など当たり前に利用しています。携帯電話などは、なんとかバッテリーを長持ちさせたいと思って、「Wi-Fi」

や「Bluetooth」「GPS」をこまめにオフにするとか、アプリが暴走しないようにチェックするなど工夫しています。

自動車のバッテリーと言えば、長年乗っていた車が、交差点の信号の前で突然停止したことがありました。電気系統が全て止まり、とても慌てました。バッテリーそのものよりダイナモも劣化が原因でした。交通量のある交差点でしたので、助けてくれる人がいて路肩に押してもらって事なきを得ましたが、危険でした。

バッテリーだけではなく、機械を使うということはこまめなメンテナンスと丁寧な扱いが必要ですね。

12 月 13 日 1874 年 「双子の場合は、先に産まれた方を兄・姉とする」という太政官布告が出されました。

こういうことが法で定められるということは、それ以前はどうだったのか？という疑問がわきます。昔は「体が大きい方が兄（姉）」とか「先に出てくるのは露払いで、後から出てくるのが兄（姉）」とか「先に母の中に入ったので奥にいるのが兄（姉）だから、あとから出てくる」などの考えがあったそうです。

とはいえ、この法が出されてからも直ぐには慣例が改められず、あとから生まれた方を兄（姉）とすることが多かったようです。そのため 1898 年 10 月 12 日には司法省民刑局長が「出生ノ前後」をもって順序を定めるように再度の通達を出しています。あのご長寿双子で有名だった「きんさん」「ぎんさん」は、実は先に生まれたのがぎんさんで、あとからうまれたのがきんさんでしたが、戸籍上はきんさんが姉になっているのだそうです。

また欧州では基本的に第一子をもって兄姉としていたそうですが、古代ローマでは第二子をもって兄（姉）としたそうです。

一卵性の双子は、まったくの偶然から生まれるそうで、人種に関係なく 1000 分娩に 4 例の割合で双子が生まれるのだそうです。それでも近年では多胚化の発生機序に何らかの遺伝的要素が関係するのではないかとも考えられているそうです。

また二卵性の双子の確立は 0.2%と言われていましたが、不妊治療などの結果、最近は増えているそうです。この二卵生の双子が増えていることで、双子そのものの出生率が上がっているのだとか。婦人科学会が胎内に戻す受精卵数を制限したことで日本の双生児の出生率は 2005 年をピークに低下傾向だそうです。

とはいえ、子供の誕生は神秘的で、しかも非常に危険を伴うことです。成長するに伴って親は子供にいろいろ期待してしまいますが、やはり「生まれてきてくれてありがとう」に尽きると思います。それは一人でも双子でも同じですね。

12 月 14 日 1883 年 植芝盛平が生まれました。

植芝氏は合気道の開祖として知られています。植芝氏は和歌山県西牟婁郡西ノ谷村の富裕な農家に 5 人兄弟の唯一の男の子として生まれました。父親は村会議員を務める村の有力者で、巨躯で怪力の持ち主だったそうです。

ただ一人の男の子ということで寵愛されましたが、子供の頃は体が弱く内向的な読書好きの少年だったそうです。

寺の学問所で四書五経を習う一方、数学や物理の実験が大好きでしたが、父親は盛平の体力と覇気を養うために、近所の漁師の子供と相撲を取らせるなどしたそうです。

軍隊に入隊したときには、武術に秀でていたので教官を務めたほどで、こうした素質は持ち合わせていたようです。退役してから北海道の開拓に向かい、大東流の武田惣角に出会い入門し、大東流合気柔術を極めました。1920年には宗教団体大本の実質的教祖出口王仁三郎に出会い入信し、その勧めで京都の綾部に「植芝塾」道場設立しました。

1925年綾部での修行中「突如黄金の光に包まれ宇宙と一体化する」という幻影に襲われました。そのときに「気の妙用」という武道極意と「万有愛護」という精神理念に達したといわれます。

ところで、合気道と言えば、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、少林寺拳法などの武道の一つと認識していますが、特に相手の打・突・蹴や武器による攻撃を無手で制することを特徴としています。盛平自身が小柄であったこともあって、合理的な体の運用により体格体力に関係なく相手を制することが出来るそうです。

二人一組の稽古ではあらかじめ何の技を行うか合意の元に行い試合ではないのだそうです。競技方法は、乱取りと形の演武の2種で、相手と戦ってどちらが強いか決めるものではありません。

戦後には、世界的に普及活動が進められ、武術とは一見相反する「愛」や「和合」という概念を中心理念として明確に打ち出した合気道は、平和を渇望する世界の人々に、実戦的な護身武術と求道的な平和哲学として広く受け容れられました。また盛平の神秘的な言動や晩年の羽織袴に白髯という仙人を思わせる風貌から、盛平のカリスマ性が高められたことも合気道人気のひとつとなりました。

合気道そのものは、盛平が極めた大東流合気柔術が源流となっていますが、あらゆる武術に長けていた盛平が柳生流や起倒流柔術などの長所も加えて確立していったものです。高名な弟子のなかには、ヨガの要素を含めた者もおり合気道の精神性重視という気風を一層強くしているようです。

柔道や空手もよいですが、呼吸を整えたり、ストレッチの効果があったりするようなので、体力や年齢に関係なく体を鍛えることができるのが魅力のようです。スティーブン・セガールや由美かおるをはじめ、俳優などでも合気道をたしなむ人も少なくないようです。ひょっとすると美容にも良いのかもしれません。試してみようかな・・・。

12月15日 1557年（弘治3年11月25日）毛利元就が三子教訓状を記しました。

毛利元就は有名な戦国武将の一人で、中国地方のほぼ全域を支配し「戦国最高の知将」「謀神」などと言われます。そして「三本の矢」の教えとも言われる『三子教訓状』だと思います。

三本の矢というのは、三人の息子、隆元、元春、隆景を呼び寄せて、１本の矢ならばすぐ折れてしまうが、３本の矢束ならば折れることがないと教えたエピソードのことです。戦前の小学校の教科書にも掲載された有名なお話です。

元就の息子たちは、本家毛利氏を継いだもの、吉川家、小早川家を継いだものと３人いることを三本の矢に例え

たものですが、本家毛利をおろそかにすれば他の家も危うくなるので、長男に従って毛利家を盛り立てていくようにと言い残したのが『三子教訓状』です。

隆元、元春、隆景の三兄弟は、世間の普通の兄弟がそうであるように、それほど仲がよかったわけではなかったようです。血がつながっていることが、必要以上にライバル心を掻き立てたり、甘えからわがままが出たりして、不仲の原因になりがちです。それでも毛利家が幕末の雄藩として残っていったのは、この元就の遺訓のおかげかもしれません。

三本の矢の話は、江戸時代に編纂された「前橋旧蔵聞書」に、死に際の元就が大勢の子どもたちを呼び集めて「1本の矢では簡単に折れるが、多数の矢を束ねると容易に折れないので、皆がよく心を一つにすれば毛利家が破られることはない」と教えたとの記載が残っています。この話が後世広まったと考えられていますが、似た話は世界にあります。

中国の「西秦録」に登場する吐谷渾阿豺（とよくこんあさい）の故事や、チンギス・カンが幼い頃に兄弟争いをしたときに母から諭されたエピソードなどがあります。イソップ寓話にも「3本の棒」という類似の話があり、トルコ系を通じてアフリカ東部にまで類似の話が広がっているようです。

越前朝倉氏の名将、朝倉宗滴が、人使いが上手でうまく政をしている人物として、今川義元や武田信玄らと共に高く評価した毛利元就は、子孫までも上手に使ったということでしょう。

12月16日 1682年 アニー・ローリーが生まれました。

「アニー・ローリー」はウィリアム・ダグラスの詩をもとにして作られたスコットランド民謡として知られる楽曲ですが、そのモデルの女性が生まれたのが今日です。

アンニー・ローリーは、マクスウェルトン卿のサー・ロバート・ローリーの末娘として、父親の館であるマクスウェルトン・ハウスで生まれました。スコットランド中に知られた美人だったといわれています。

ウィリアム・ダグラスとアニー・ローリーは、お互い惹かれあう仲でしたが、彼女がまだ若すぎること、政治的な立場の違いなどで、マクスウェルトン卿から強く反対され結局、この恋が成就することはありませんでした。残されたダグラスは愛するアニーのことが忘れられず、彼女への熱い思いを一遍の詩に託したのが、この「アニー・ローリー」の詩でした。

アニーは、1710年にクレイグダーロックの領主アレクサンダー・ファーガソンのもとに嫁ぎ、約33年間そこで暮らした。 彼女のために大邸宅が建設され、彼女の好みで作られたという庭園も残されています。またダグラスも別の女性と結婚しました。

1838 年にスコットランドの女流音楽家ジョン・ダグラス・スコット夫人によって曲がつけられました。クリミア戦争による遺族の慈善活動のために出された歌集に載せられたことから広く知られるようになり、やがて軍楽隊も演奏するようになりました。戦地の兵士たちもこの歌を口ずさみ、故郷にいる大切な人をしのんだそうです。

先に放送されたNHKの朝ドラ「マッサン」の中でも、エリーと娘のエマが出資者をもてなすために歌うシーンで、この「アニー・ローリー」が使われました。

日本でも、いろいろな訳詩で歌われていますが、直訳すればこんな感じ。

マクスウェルトンの丘は美しく　朝露にぬれる
あの丘でアニー・ローリーは私に真実の愛をくれた
この愛を忘れる事はできない
愛しいアニー・ローリーのためなら
私の命を捧げる　死ぬ事すらいとわない

彼女の顔は雪のようで
彼女の首は白鳥のようだ
彼女はもっとも美しく　陽の光に満ちている
彼女の瞳は深い青色
愛しいアニー・ローリーのためなら
私の命を捧げる　死ぬ事すらいとわない

ヒナギクの上の露のように
夏にそよぐ風のように
美しい彼女の御声
彼女が僕のすべてだ
愛しいアニー・ローリーのためなら
私は命を捧げる　死ぬ事すらいとわない

12月17日 1972年　競馬の有馬記念で1レースでの売り上げが初めて100億円を突破しました。

「有馬記念」というのは、よく耳にする競馬のレースですが、競馬には詳しくないのでどういうレースなのか知りませんでした。ところが先日バルセロナで開催されたフィギアスケートのGPファイナルのリンクの広告に大きく「有馬記念」とあったので、有馬記念ってどんなレースなんだ？！と思ったのでした。

日本競馬の父、安田伊左衛門氏から中央競馬2代目理事長の座を譲り受けた有馬頼寧氏は、暮れの中山競馬場では中山大障害が最大の呼び物でしたが、これといった華やかなレースがないことから、中山競馬場で日本ダービーに匹敵する大レースとして提案し、1956年に「中山グランプリ」の名称で創設されました。

当時としては他に類を見ないファン投票で出走馬を選出したので、その年に活躍した3歳馬(旧4歳)と古馬の直接対決も見られるというファンにはたまらないレースとなりました。

優勝賞金は200万円、売り上げ8000万円以上と大好評で第1回を開催しましたが、その後有馬頼寧氏が急死したため、彼の功績を称えて第2回から「有馬記念」に改称し、以来、中央競馬の一年を締めくくるレースとして定着しました。地方競馬所属馬は1995年から出走が可能になり、2007年からは国際競走となって外国馬の出走枠も6頭に増やされました。

有馬記念の優勝賞金は今年、５０００万円増額されて２億５０００万円となりましたが、来年はさらにアップして３億円となるそうです。有馬記念ファン投票１０位以内の競走馬には５００万～２０００万円の特別出走奨励金が交付されますし、優勝賞金も最高額とすることで馬券売り上げ日本一を誇る師走の大一番をさらに盛り上げたい意向のようです。

ところで、この馬券売上はなんと世界一としてギネス記録にも認定されているそうです 1996 年の第 41 回有馬記念の馬券売上で 875 億 104 万 2400 円、2012 年の第 57 回有馬記念の売上は 341 億 525 万 7800 円、２０１４年の売り上げは３８８億２５６１万８１００円で、前年比１１０・７％と大幅アップだったそうです。

昨年は暮れも押し迫った１２月２８日の開催で入場者数は１１万５８７８人で前年比９２・９％だったそうです。ちなみにオグリキャップが涙のラストランＶを飾った第３５回有馬記念（1990 年１２月２３日）の入場者数は１７万７７７９人で、これは中山の入場人員レコードとなっているそうです。残り２００メートルからゴール付近は、すし詰め状態で発走１時間前あたりからは馬券を買いに行こうものなら戻って来られなかったとか。

今年の出走馬の発表は２４日、２７日に今年の有馬記念が開催されます。売り上げがギネスに登録されるほど盛り上がる競馬なら、フィギアスケートのリンクに広告を出すというのも分かりますね。

12 月 18 日 1971 年 スミソニアン協定が締結しました。

これは 1971 年８月のアメリカのニクソン大統領の金・ドル交換停止発表（ドルショック）を受け、先進国１０ヵ国の蔵相会議で、ドルと各国通貨の交換レートの見直しを行い、ドルを切り下げながら公定相場制を維持することを申し合わせました。その結果今まで 1US ドル=360 円だったものが、308 円に切り上げられました。

会場がスミソニアン博物館であったことから、スミソニアン協定と呼ばれ、そこで成立した国際金融体制はスミソニアン体制と言われます。基本的には金ドル本位制の下での固定相場制というブレトン＝ウッズ体制を守ろうとしたものでした。

ブレトン＝ウッズ体制は戦後 1945 年から実施されていましたが、この協定は 1929 年の世界大恐慌により 1930 年代に各国がブロック経済圏をつくって世界大戦をまねいた反省と第二次世界大戦で疲弊・混乱した世界経済を安定化させる目的がありました。

ドルを世界の基軸通貨として、金１オンスを 35US ドルと定め、そのドルに対し各国通貨の交換比率を定めたものでした。これによって日本や西側諸国は、史上類を見ない高度成長を実現しました。

その後、アメリカ合衆国と世界の諸国の経済や貿易や財政の規模が著しく増大し、金の産出量や保有量が、経済や貿易や財政の規模の増大に対応することが困難になり、1971 年 8 月 15 日にドル紙幣と金との兌換一時停止を宣言したニクソンショックにより、終結しました。

その対応のためにスミソニアン協定が締結されたのですが、これも、その後のドルに対する信頼が低下し続けたことで、国際通貨の為替相場を固定することが困難となり、1973 年までに各国とも変動為替相場制に移行していきました。

ブレトン・ウッズ体制では固定相場制だったので、現在のグローバル経済よりも安定していたことは確かだと再評価する声もあるそうですが、今のように各国の生産性にばらつきが出ていると対応できないのも事実であり、これも経済の進化と言えるでしょう。

12 月 19 日 1968 年村山雅美隊長率いる第 9 次越冬隊が、日本人として初めて南極点に到達しました。

人類初の南極点到達は、1911 年 12 月 14 日にノルウェーのロアール・アムンセンの南極点遠征隊によるものです。ロバート・スコットも同時期に南極点を目指していましたが、遅れることわずか 34 日、しかも帰路、飢餓と極寒の中で彼らは全滅という悲劇は、子供の頃、本で読みました。

その後、南極点に到達する人はしばらく途絶えましたが、1956 年 10 月 31 日にジョージ・J・デューフェクを載せたアメリカ海軍の航空機が到達し、この年から翌年の国際地球観測年にかけて、南極点にアムンゼン・スコット基地が建設され、研究者や支援要員の常駐が始まりました。

アムンゼンとスコットに次ぐ陸路での南極点到達は、イギリス連邦の南極大陸横断探検(en)の一環に当たる 1958 年 1 月 4 日のエドモンド・ヒラリーによるものでした。その後も、アンテロ・ハボラ、アルバート・P・クレイリー、ラノフ・ファインズら多くの探検家が南極点への旅を成功させました。

日本が南極観測を始めたのは 1957 年、南極点到達が 1968 年と考えれば、南極に行ったからといって南極点到達は簡単ではないということでしょう。

村山雅美氏は　1956 年永田武隊長によって編成された南極地域観測予備隊の第 1 次観測隊に横浜国立大学工学部より設営担当として参加したのを始めとして、その後も観測隊に加わりました。南極に約 1 年間取り残されていたタロとジロの樺太犬 2 頭を発見したのも村山氏でした。

1962 年の第 6 次で日本の南極観測がいったん打ち切られた際、中曽根康弘らの後押しを得て、米国の南極基地を観測するなど奔走し、再開に向けて尽力しました。 1965 南極観測が復活した第 7 次観測隊には隊長として参加しました。

第 9 次観測隊の隊長として、11 人の越冬隊員を率いて雪上車で日本人として初めて南極点に到達しました。 南極点を目指す道すがら村山は、かつて松田竹千代文部大臣が言った「南極観測は日本の国家的道楽である」という演説を思い出していたそうです。南極を目指しながら「人類の最高の道楽」とでも思っていたかもしれませんね。

1974 第 15 次越冬隊隊長としても参加しました。1983 公開の映画「南極物語」を監修しています。 国立極地研究所を退官した後も極地通いを続け、1988 チャーター機で北極点に降り立ち、南極点と北極点を踏んだ最初の日本人となりました。

村山氏は第二次世界大戦時の戦況悪化に伴う繰り上げという形で東京帝国大学卒業した後、日本海軍を志して予備学生として入隊しました。海軍では戦艦「長門」、航空母艦「瑞鶴」の乗務員を経ましたが、幸いなことに戦闘に加わることはなかったそうです。

戦後は、商社に勤務していましたが、1953 年のヒマラヤ・マナスル第一次遠征隊に参加し、1956 年には西堀榮三郎に請われて第一次南極観測隊に参加し、南極との長い付き合いが始まったのでした。学者でもなかった自分が南極と深く関わるようになった経緯については、本人さえも不思議な運命のようなものを感じていたそうです。

12 月 20 日 1952 年　仏領コモロ諸島でシーラカンスの初の学術調査が実施されました。

もともと、シーラカンスは生きた化石として有名でしたが、1938 年　４億年前のデボン紀に栄えたシーラカンスが、 南アフリカ沖で発見されて世界中をおどろかせました。このときは 南アフリカの博物館員女性が漁船からシーラカンスを発見したのですが、腐敗が激しかった為、体の一部のみ標本化されました。

また２体目のシーラカンスは 1954 年、マダガスカル沖のコモロ諸島で発見されました。コモロ諸島ではその後 200 匹以上のシーラカンスが捕獲されているそうです。

1998 年にはインドネシアのスラウェシ島でも発見され、解剖の結果南アフリカのものとは異なっていることが判明し、新種のラティメリア・メナド

エンシスとして登録されました。

シーラカンスは約四億年前に地球に現れ、現在までほとんど姿を変えていないため「生きた化石」と呼ばれます。生物進化の歴史では、魚類が地上に上がってくる分かれ道に位置し、化石から卵胎生と考えられています。化石はたくさん残っていますが、生きているのが見つかったのは２０世紀になってからで、海の底にいるので生態はよく分かっていません。

ところで、インド洋西部と太平洋西部の一部の海域で、まとまった数のシーラカンスが確認され、ハンス・フリッケ氏率いる研究チームは、この群体を対象に、21 年にもわたる調査を行ったそうです。その結果、この原始の魚は 100 歳かそれ以上まで生きられるという驚くべき研究結果が報告されました。

シーラカンスは水深約 160～200 メートルのところに生息するため、チームは潜水艇を使って写真と動画を撮影しました。シーラカンスの体側には個体ごとに特有の白い斑点があるので、数百回にも及ぶ潜水艇調査の中でチームは 140 匹以上の個体を識別することができました。

そこで分かったことは、年間に 3～4 匹の個体しか死んでいないように見られるということです。魚類の死亡率としては、記録されている中では最も低いレベルということで、平均寿命を 100 歳と推定したのだそうです。しかも外見からは年齢を見分けることが出来ず、うろこさえも、ほとんど経年変化がないとのことです。

シーラカンスの遺伝子の変化は他種に比べて遅いことも分かっており、研究に携わったブロード研究所のカースティン・リンドブラッドトー氏は、「地球上には生物が変化する必要がない場所が少ないながらもあり、シーラカンスはそういった環境で生存してきたのだろう」と言っているそうです。

シーラカンスの研究が進めば、人の進化や老化についても新しい発見があるかもしれません。地球上には、まだ

まだ不思議なことがたくさんあるのですね。

12 月 21 日 1849 年（嘉永 2 年 11 月 7 日）緒方洪庵が大坂古手町に種痘所を設立しました。

緒方洪庵は岡山の足守藩出身の医者で、大坂に適塾を開き人材を育てたことでも有名ですが、私財を投じて牛痘法の普及活動を行ったことでも知られています。

天然痘は 1980 年 5 月 8 日に世界保健機構によって「天然痘撲滅宣言」がなされましたが、それに至るまでには多くの犠牲と多くの研究がありました。天然痘は非常に強い感染力を持ち、全身に膿疱が出来ます。治った後でもあばたが残り、世界中で不治の病、悪魔の病気と恐れられてきました。一説には 40%もの高い致死率で、国や民族が滅ぶ遠因となったとさえ言われています。

この天然痘制圧の歴史を見れば、エドワード・ジェンナーによる牛痘から採取したワクチンを接種する方法を開発したことが有名です。しかし、それを遡る 6 年前の 1792 年福岡県の秋月藩の藩医である緒方春朔が、秋月の大庄屋・天野甚左衛門の子供たちに人痘種痘法を施し成功させたという記録が残っています。

日本で初めて牛痘法が行われるのは 1810 年のことで、ロシアに漂着し拘束されていた中川五郎治が帰国後に田中正右偉門の娘イクに施したのが最初だとされています。このときは牛痘法を秘密にしたために広く普及することはありませんでした。

その 3 年後に中川五郎治と一緒にロシアに漂着し遅れて帰還した久蔵が種痘苗を持ち帰り、広島藩主浅野斉賢にその効果を進言しましたが、まったく信じてもらえなかったそうです。

緒方洪庵は、京に赴き佐賀藩が輸入した種痘を得て、治療費を取らず牛痘法の実験台になることを患者に頼みこんで接種したそうです。牛痘種痘法は、受けると牛になるなどの迷信があって、効果に期待するより偏見から受けたがらない人が多かったようです。

1850 年には郷里の足守藩より要請があり「足守除痘館」を開き切痘を施しました。また、ワクチンを関東から九州までの 186 箇所の分苗所で維持しながら治療を続け、その一方でもぐりの牛痘種痘法者を排斥するため、除痘館のみを国家公認の唯一の牛痘種痘法治療所として認められるよう奔走しました。

洪庵が牛痘種痘法に熱心だったことの一つには、やむなく使用されていた人痘法で患者を死なせた苦い経験があったようです。温厚で人当たりがよく、多くの人と知り合いだったといわれる洪庵は、考え方も柔軟で新しい知識を受け入れることにも積極的だったようです。やライバルだった華岡青洲とも同じ医者仲間として接し、患者を紹介したり医学上の意見を交換したりしていたそうです。

洪庵は、自分自身と弟子たちへのいましめとして、十二か条よりなる訓戒を書いています。その第一条には、

医者がこの世で生活しているのは、人のためであって自分のためではない。決して有名になろうと思うな。また利益を追おうとするな。ただただ自分をすてよ。そして人を救うことだけを考えよ。と書かれているそうです。まさに「医は仁術」を実践した人だったようです。

12 月 22 日 1885 年 日本で内閣制度が発足しました。

日本で内閣が出来たといえば、伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任して、第 1 次伊藤内閣を組閣したことはよく知られています。それまでの太政官制を廃止し、内閣総理大臣と各省大臣による内閣制が定めらました。

明治維新後、古代の律令制を参考にして新たに設置された太政官を国政の最高機関とした太政官制が採用されていました。倒幕の結果、西欧に倣った国家体制をとるために急ごしらえでつくったもので、トップの太政大臣には公卿が就任していましたが、内閣総理大臣は、どのような身分の出自の者であっても国政のトップに立つことができる点で、明治維新におけるひとつの成果の完成と言えましょう。

1873 年の官制改革では、太政官正院に置かれた太政大臣と参議から構成される合議体である内閣が国政全般にわたる意思決定機関とされ、それを太政官内閣制としていました。このときから一貫して、内閣は天皇を輔弼しまつりごとを執行する機関である立場をとっています。

このときの内閣制度では各省大臣の権限を強め、諸省に割拠して力をつけつつあった専門的な官僚をコントロールできる、大臣レベルの指導者層の主導権を確立しました。官営鉄道の運営母体が「工部省鉄道局」から内閣所属「鉄道局」へと改組されるなど、多くの変革も伴いました。

その後 1889 年 2 月 11 日には大日本帝国憲法が発布され、同年 12 月 24 日には「内閣職権」を改定する形で「内閣官制」が制定されました。国政の意思決定機関は「枢密院」とし、その認可をもって国政を遂行する機関として「内閣」が位置付けられました。内閣総理大臣は内閣の中の首席というだけで、いまほど力を持っていなかったようです。

初代総理大臣の伊藤博文は少年期に松下村塾で学び、吉田松陰から「才劣り、学幼し。しかし、性質は素直で華美になびかず、僕すこぶる之を愛す」と評され「俊輔、周旋の才あり」と言われていましたので、松蔭は当時から伊藤は政治家に向いていることを見抜いていたようです。

幕末のドラマでは、劇団ひとりのようなちょっと頼りない感じの人が伊藤を演じますが、さすがに総理大臣になってくると加藤剛のような重鎮が演じますね。まさに近代版太閤記と呼ばれる所以です。

12 月 23 日 1868 年 明治政府が富くじ興行禁止を布告しました。

年末の楽しみのひとつに「年末ジャンボ宝くじ」という方もおられるかもしれません。今年の 1 等は 7 億円、前後賞とも当せんすれば 10 億円とのことで、もう庶民感覚の金額ではありませんね。

ところで富くじは、江戸時代には公儀の許可を得た寺社が勧進のために発売していたものですが、明治になり一律禁止となりました。しかし、民間では違法な闇富くじが広く行われていたそうです。現在でも刑法第１８７条で「富くじ販売等」を禁止されているので、宝くじ以外は違法になります。

幕府公認となったいわゆる「御富くじ」で、特に「江戸の三富」として有名だったのは、谷中の感応寺、目黒の

瀧泉寺、文京区にある湯島天神の三社の御免富でした。抽選方法としては、それ程変らず始めに、大きな箱に、札の数と同数の、番号を記入した木札を入れました。続いて箱を回転させ、側面の穴から錐を入れて木札を突き刺し、当せん番号を決めます。そして当選番号の木札の所有者に、あらかじめ定めた金額を交付するという仕組みです。

一等は 1000 両というのもあったのですから、江戸の庶民の方々が熱狂するのも無理ないことです。ところが 1000 両当たったからといって、全額貰える訳ではなかったようで、寺社修理料の 100 両を興行主に、礼金 100 両を札屋に、その他諸費を 50 両程支払わなければならず、実質手元に入るのは、700 両程だったとか。

富くじは幕府によって、何回も禁止令が出されました。まあ、人々が熱狂し、大きなお金が動くことやおそらく裏で不正が行われたり、なにやら犯罪の温床になったりしていたのではないかと想像できますね。とはいえ、富くじに集まる金額は無視出来なかったのでしょう、幕府は、寺社にだけは、お寺の修復費用を調達する一つの方法として、「富くじ」の発売を許可せざるを得なかったようです。

富くじの歴史を紐解けば、すでに鎌倉時代の『夫木集』にある藤原兼隆の歌に、現在の大阪府箕面市にある瀧安寺の箕面富に関する記述があるそうです。これが記録としては最も古いとされていますが、もっと古い時代から行われていた可能性はありますね。賭け事、一攫千金など人の欲望は、今も昔も同じでしょう。

また第二次世界大戦中の 1945 年 7 月 16 日には国が戦費調達のため「勝札」を発売しました。 物資不足のため、副賞の賞品（タバコや純綿のキャラコ）がもてはやされましたが、抽せん前に敗戦となり、人々は「負け札」と悪態をついたそうです。

さて、10 億円を獲得する人はいるのでしょうか。自分かも！と思っている方、どんな使い道を考えているのでしょう。気になりますね。

12 月 24 日 1933 年 東京・有楽町に日本劇場がオープンしました。

日本劇場は大川平三郎、根津嘉一郎、小林一三ら財界人の出資でたてられました。ニューヨークのロキシー劇場を模した円形の外観をもち、間口 14.5m の大舞台があり客席は 3 層になっており 2614 席が設けられました。

屈曲した外壁、広大な舞台、アールデコ調の内装などは、当時には斬新かつ画期的な建築要素をふんだんに取り入れたもので、渡辺仁設計、大林組施工により、1933 年に竣工し 12 月 24 日に開場披露式が盛大に挙行されました。

当初は日本映画劇場株式会社の経営でしたが、経営不振となり一旦閉館に追い込まれてしまいますが、日活が賃借して映画館となるも、思うようにいきませんでした。次いで東宝が賃借して直営とし、ミュージカルや歌謡ショーのステージとしても使代われるようになりました。さらに東宝が日本映画劇場株式会社そのものを吸収合併しました。なるほど、結局小林一三のものになったのかと言う感じです。

小林一三といえば、1934 年に東京宝塚劇場を開場した後、有楽座、日本劇場、帝国劇場を所有して日比谷一帯を傘下に納め、浅草を手中に収める松竹とともに東京の興行界を二分する存在でした。

戦時中は、東京宝塚劇場、日本劇場が風船爆弾工場として使われ、戦後には、東京宝塚劇場が進駐軍専用のアーニー・パイル劇場と改名されて 10 年間日本人の観客は立入禁止となるなど苦難の時期を経験しています。

戦後は東宝映画と実演の二本立て興行を行い、特に実演は日劇ダンシングチーム のレヴューと人気歌手のショーが注目を浴びました。日劇の舞台に出る事が人気芸能人の登竜門といわれた時期もあったそうです。1953 年 12 月と 1960 年には、NHK 紅白歌合戦も開催されました。

1958 年には第 1 回日劇ウエスタン・カーニバルが開催されました。折からのロカビリー旋風に乗り、観客動員数は初日だけで 9,500 人、1 週間で 45,000 人を記録する大盛況となりました。

この企画が当たったことで、以後も定期的に開催されるようになった。1950 年代にはロカビリーブーム、1960 年代後半にはグループ・サウンズブームが起こり、連日満員だったそうです。グループ・サウンズブームの最盛期には有楽町駅前から東京駅近くまで約 1km に渡って前売券を買う人々の行列が連なり周囲を騒然とさせることもあったようです。1970 年代はジャニーズ事務所やスクールメイツのタレントをメインとしたアイドルショーが多く開かれました。

日劇ウエスタン・カーニバルは 1977 年 8 月の第 57 回をもって幕を閉じました。また 1981 年には老朽化に伴う複合ビル計画により日本劇場の閉鎖･解体が決定しました。閉鎖間際には赤字経営をなんとかやりくりするために、全館にファーストキッチンやディスカウントショップ、甘栗屋、雑貨、洋服屋、マージャン、ビリヤード店が入居するなど、一世を風靡した劇場とは思えぬ凋落ぶりだったそうです。

人々を楽しませ、夢を見せることに生涯をかけた小林一三が見たら、さぞ落胆したのではないかと思います。隣接する朝日新聞東京本社の旧社屋と共に解体。跡地には有楽町センタービルが建てられました。「日劇」の名称は同施設内に設けられた映画館に引き継がれています。

12 月 25 日 1926 年　テレビ受像機で「イ」の文字の画像の伝送に成功しました。

浜松高等工業学校の助教授だった高柳健次郎氏は「無線遠視法」いわゆるテレビジョンの研究を重ねていましたが、この日世界で初めてブラウン管による電送・受像に成功しました。

送像側には機械式のニプコー円板と受像側に電子式のブラウン管を用いて、片仮名の「イ」の文字を送受像しました。走査線の数は 40 本でした。「イ」の字はいろは順の最初の文字として選んだそうです。

1933 年に、アメリカのツヴォルキンが電子式撮像管「アイコノスコープ」を発明すると、高柳氏らも独自でアイコノスコープを試作し、1937 年には、走査線 441 本、毎秒 30 枚という当時としては世界最高水準の全電子式テレビ受像機を完成させました。

高柳氏は 1940 年に開催が予定されていた東京オリンピックのテレビ中継のために、NHK に出向し、研究・実験を続けましたが、日中戦争によりオリンピック開催が返上され、その後も戦争が激化していったために研究も中断せざるを得ませんでした。

戦時中はレーダーの研究をしていた高柳氏ですが、終戦後 NHK に戻ってテレビの研究を再開するが GHQ の指

令によりテレビの研究を禁止させられたために、1646 年ビクターに移籍し、自らが中心となり NHK、シャープ、東芝と共同でテレビ放送技術とテレビ受像機を完成させました。高柳氏は「日本のテレビの父」と呼ばれています。

1953 年 1 月には、シャープから国産第 1 号の白黒テレビが発売されました。14 インチで価格は 175,000 円だったそうです。また 同年 2 月には NHK が本放送を開始しました。1950 年代後半には白黒テレビは電気洗濯機や電気冷蔵庫などとともに「三種の神器」の一つに数えられるようになったのです。

高柳健次郎氏による「電子式テレビジョンの開発」は、2009 年「IEEE マイルストーン」に認定され、静岡大学が受賞しました。IEEE は、米国に本部を置く世界最大の電気・電子技術者による非営利の学会団体組織で、IEEE マイルストーンは電気・電子技術とその関連分野について、社会に貢献した重要な歴史的な偉業を認定するものです。

高柳健次郎氏の功績は「テレビジョンの開発の初期における先駆者の一人であったこと、ヨーロッパやアメリカとは独立になされたその研究・特許・論文・教育により日本のテレビジョンと、その関連産業が世界のリーダーへと成長する基礎を形成したこと」などが総合的に認められました。

今でこそ、日本は多くのノーベル賞を受賞するほどの研究成果や技術力を持つようになりましたが、長い間世界に遅れを取っていました。それは、取りも直さず太平洋戦争による疲弊に他なりません。明治維新ののち恐ろしい勢いで西欧文明を取り入れ、技術導入、人材育成に力をいれ、大正時代や昭和初期の日本は、世界に引けをとる国でもなかったのでは？と思っています。

それが、日中戦争に始まり、空襲により壊滅的な打撃を受け、その後の GHQ による占領時代など、日本にとってよいことは一つもなかった気がします。それでも、今の日本があります。まさに日本人の底力ですね。倦まず弛まず、千里の道も一歩から、です。

12 月 26 日 1893 年毛沢東が生まれました。

5 人兄弟の三男として生まれましたが、長男と次男が夭逝したため、事実上の長男のように大切に育てられました。父親は自らの才覚で地主になっており、毛沢東は子供の頃から子供のうちから、働きながらも勉学にも励んだそうです。

1911 年に勃発した辛亥革命では湖南の革命志願軍に入隊しました。清朝が崩壊したのちには、軍を除隊して学校へ戻長沙の湖南全省公立高等中学校に入学しました。中学入学の際に明治維新に関心を持っていた毛は、父に幕末の僧月性の詩「将東遊題壁」を贈り自分の意気込みを示したそうです。

1917 年、孫文の同志だったアジア主義者の宮崎滔天の講演を聞き、日本が欧米白人のアジア支配を打破したことを聞いて非常に刺激を受けたと言われています。師範学校を卒業し、北京に出て司書補として勤めたり、初等中学校で歴史教師を務めたりしました。

1921 年には第 1 回中国共産党全国代表大会（党大会）に出席し、1923 年の第 3 回党大会で中央執行委員会の委員 5 人のうちの 1 人に選ばれました。民族統一戦線を指導し、日中戦争に勝利しました。その後の国共内戦では

蒋介石率いる中華民国を台湾に追いやり、中華人民共和国を建国しました。

大躍進政策で失敗した後、文化大革命を引き起こしますが、これも今となっては文化、社会、経済、外交に重大な損害をもたらしたと考えられています。それでも文化大革命により終身指導者の地位を得ました。

しかしながら、毛沢東に関して書かれた本を読めば、私生活は好色、不潔で、公的には権力の亡者だったとするものが多いようです。建国までは、志の高い優れた指導者だったと評されていますが、文化大革命は少なくとも中国の歴史を 20 年遅らせました。毛沢東の本当の姿は当の中国人は、何も知らないのか、天安門には毛沢東の肖像画が掲げられており、いまだに「毛沢東、万歳」と叫ぶ人がいるようです。

ところで毛沢東は国内では「抗日戦争勝利」を祝う行事を行ったことはなかったそうです。中国とは、国民党軍を倒して誕生した国であると認識しているので、建国記念日である国慶節を盛大に祝ったそうです。毛沢東は日本に厳しい歴史教育や反日教育など思いもよらないものでした。

近年の中国の反日は、共産党主義を維持するための手段でしかないようです。困ったことです。周恩来、鄧小平レベルの政治家はもう今の中国からは出てこないのでしょうね。

12 月 27 日 1885 年 浅草寺の仲見世通りが煉瓦造の建物に建て替えられました。

雷門から浅草寺へと続く参道の両脇に位置するのが浅草仲見世で、扇やかんざし、豆おもちゃなどの江戸情緒あふれる商品や、人形焼き、雷おこしといった菓子類などおみやげ屋さんが軒を連ねている日本最古の商店街として知られています。東京見物と言えば、外せないスポットでもあります。

仲見世の歴史は徳川家康が江戸幕府を開いた 300 年ほどまで遡ります。江戸に人々があふれ浅草寺の参拝客で賑わうようになりました。そのために浅草寺境内の掃除を課せられていた近隣の人々に、境内や参道上に出店しても良いと幕府から営業の許可が与えらました。次第にお店が増えていき商店街の形態になっていったようです。これが元禄から享保の頃、1700 年前後のことです。

明治になって、社の所領が政府に没収され、浅草寺の境内も東京府の管轄となりました。政府は新しく東京に 5 公園を作り、公園法を制定して以前からの一切の特権が仲見世から取り上げられました。しかし 1885 年）には表参道両側の「仲見世」が近代的な煉瓦造りの洋風豊かな新店舗に生まれ変わりました。1890 年には商業施設と展望塔を兼ねた 12 階建ての「凌雲閣」（通称「浅草十二階」）も完成しました。

関東大震災により壊滅した後には現在の鉄筋コンクリート造り、桃山風朱塗りの堂々たる商店街になり、また太平洋戦争の空襲では内部が全部焼失しましたが、商店街の人々の努力によりいちはやく復興しました。1985 年秋には近代仲見世誕生 100 周年を記念して、電飾看板の改修、参道敷石の取替工事が行なわれました。

現在の仲見世には東側に 54 店、西側に 35 店、合計 89 店の店舗があり、長さは約 250 メートル、美しい統一電飾看板と四季折々の装飾で、海外からの観光客にも非常に喜ばれているそうです。そして今日は浅草仲見世記念日だそうです。

12 月 28 日 1974 年 雇用保険法が公布されました。

雇用保険は、厚生労働省が保険者となり、労働者がなんらかの理由で失業に陥った時、再就職までの生活を安定させ、就職活動を円滑に行なえるよう支援するための保険です。

いわゆる失業保険と呼ばれていますが、正しくは雇用保険。第二次世界大戦が終わり失業者があふれ経済が混乱していた 1947 年に失業保険法が施行されました。その後、失業保険法は法改正を重ねましたが、経済の構造が変わっていく中で制度の大きな見直しの必要性が高まってきました。

失業している者を救済するという機能にくわえ、失業の予防という目的を加えた制度拡充により、名称が雇用保険に改められました。会社に雇用されている時は雇用保険ですが、もし失業したときには、失業給付金となり、それで労働者側から見れば、「失業保険」の方が名称としても分かりやすいのかもしれません。

雇用保険は失業等給付と雇用 3 事業を主な事業内容とする制度で、雇用 3 事業とは「職業の安定のために失業の回避や雇用機会の増大と雇用構造の改善」「労働者の能力の開発と向上」「福祉の増進」の 3 つです。

基本手当のほかに、技能習得手当,寄宿手当、高年齢求職者給付金、日雇労働求職者給付金、再就職手当、常用就職支度金など様々な給付金があり、保険の内容をよく知り、損することなく給付を受けることが必要となります。

国民の義務である「税金の納付」に関しては有無を言わさず持っていかれますが、給付や控除に関しては良く調べなければ、恩恵を受けることが出来ません。これ、とっても不公平な気がします。

まあ、親切に「お金が返ってきますよ」なんて話は、詐欺の場合が殆どですから、そういう意味ではわかりやすいかもしれません。

12 月 29 日 1905 年 第三軍司令官・乃木希典大将が日露戦争からの凱旋の途につきました。

乃木希典大将と言えば、日露戦争では。ロシア帝国が第一太平洋艦隊の主力艦隊の母港としていた旅順港を守る旅順要塞を陥落させた戦いで功績をあげたことで知られています。他にも、明治天皇崩御の再に、夫人とともに殉死したことも有名です。

乃木希典長州藩の支藩である長府藩の藩士の子として江戸屋敷で生まれました。子供の頃は体も弱く泣き虫であったそうです。11 歳の時には国許にもどり、漢籍や詩文、また流鏑馬、弓術、西洋流砲術、槍術および剣術などをならったそうです。

16 歳の時には吉田松陰の伯父玉木文之進の門に入り、文之進の農作業を手伝う傍ら、学問の手ほどきを受けたそうです。第二次長州征討の時には、奇兵隊の山縣有朋指揮下で戦い、小倉城一番乗りの武功を挙げたそうです。

西南戦争では歩兵第 14 連隊長心得を務めました。田原坂の激戦で明治天皇から賜った連隊旗を失い、これが生涯にわたる恥辱になりました。その後、しばらく放蕩の暮らしをしたそうです。

1887 年 1 月から 1888 年 6 月まで、乃木は政府の命令によってドイツ帝国へ留学しました。そこでドイツ軍参謀大尉デュフェーから『野外要務令』に基づく講義を受けました。帰国後は「復命書」で軍紀の綱紀粛正を諫言し、それまでの放蕩な暮らしとは、打って変わった質素で清廉な暮らしに徹したそうです。

日清戦争では、破頭山、金州、産国および和尚島において戦い、旅順要塞はわずか 1 日で陥落させました。日清戦争の戦績から野戦が得意な将軍との評価から、日露戦争でも第 3 軍を率いて旅順を攻めましたが、多くの犠牲を出し非常に苦戦したため、一時は乃木に対する非難が高まり、第 3 軍司令官から更迭する案も浮上したほどでした。

日露戦争後、アメリカのセオドア・ルーズベルト大統領は「旅順砲台は今日世界の学術機械を応用した堅牢無比の砲台で、これを陥れることは思いもよらぬこと」とこの難攻不落の旅順を陥れた日本軍の健闘に賛辞を送ったといわれています。

「日露戦争の英雄」として、長野師範学校で講演を求められた時に、乃木は演壇には登らず、その場に立ったまま、「私は諸君の兄弟を多く殺した乃木であります」と、ひとこと言ってから絶句し涙を流したそうです。戦場でも乃木のために命を落とすなら本望であると多くの兵隊が言っていたというほど、人の心をつかむカリスマ性があったようです。

そうでしょう。もう 100 年以上前に亡くなった人でありながら、乃木神社に祀られているとか、乃木坂の名前の由来となっていることなど、今でも私たちの身近なところで彼の生きた証を感じ、親しみをこめて「乃木さん」と呼ぶ人もいるのですから。

12 月 30 日 1889 年 日本で決闘罪ニ関スル件が公布されました。

日本には、それまで果し合いとか敵討ちなどという決闘の風習がありましたが、それを取り締まる規則や統一した決まりごとなどはありませんでした。それどころか決闘は犯罪と扱われることもありませんでした。

欧米でも一定の時期までは決闘は違法な行為とは扱われませんでしたが、決闘の放置は社会秩序の維持に悪影響をもたらすことから決闘に関した法律が制定されていきました。

現在では決闘する人などいないので、こんな法律は存在意義がないと考える人もおられるかもしれませんが、青少年による果たし合い、いわゆる「タイマン」がこの決闘に該当するとの判断がなされて以降、暴行罪や傷害罪での立件が困難であるような事件を摘発又は解決する方法として適用されているのだそうです。

この法律では、実際に決闘を行わなくても、決闘を挑んだり受けたりするだけでも罪になり、また場所を提供したり立会いを引き受けたりするだけでも罪に問われます。そういえば、LINE で決闘の約束をして見物人が多く集まり騒動になったことがありましたね。

ところで、西洋の決闘といえば、相手の足元めがけて白手袋を投げるか、顔を白手袋ではたくことによって決闘を申し込み、相手が手袋を拾い上げれば受諾となるとか小説で読んだ気がします。またアメリカのカーボーイなどは、拳銃を持って背中あわせに数歩歩いて、振り向きざまにバ～ン　といったイメージです。

日本の決闘、果し合い、敵討ちと言えば、猿蟹合戦をはじめとして、赤穂浪士の討ち入り、堀部安兵衛が出てくる高田馬場の決闘や宮本武蔵と佐々木小次郎の巌流島の決闘など有名な話も数多くあります。

ところで正月の初夢に見ると縁起が良い夢をあげて「一富士、二鷹、三なすび」(いちふじ、にたか、さんなすび)という伝統的な表現があります。

これは一説には江戸時代の中頃から「三大仇討ち」として喧伝されてきた
「曾我兄弟の仇討ち」(曾我兄弟は富士の裾野で巻狩りが行なわれた際にこれに乗じて仇討ちを行なったから)、
「赤穂浪士の討ち入り」(播州赤穂藩浅野家の家紋が「丸に違い鷹の羽」だったことから)、
「伊賀越えの仇討ち」(伊賀国はなすびの産地として知られていたことから)のことを言ったものなのだとか･･･。

初夢、血なまぐさい！

12 月 31 日 1990 年下津井電鉄線がこの日限りで全線廃止されました。

下津井電鉄は、茶屋町駅と下津井駅とを結んでいた軽便鉄道で(軌間約 762mm)、軽便野中では比較的遅くまで残っていました。1988 年の瀬戸大橋開通を機に観光鉄道へと転身を図り、児島の駅も立派になりましたが、それから 3 年も持たず廃止となりました。

下津井は古くから風待港として栄えた港町で、下津井 - 丸亀間航路は航路が短いことから「四国往来」と呼ばれる主要ルートの一部とされていました。金比羅参りの人々などが古くから多く利用し栄えた港でした。

1910 年に国鉄宇野線が全通し、これに接続する形で宇野 - 高松間で宇高連絡船の運航が開始されると、下津井 - 丸亀間航路の利用者は激減しました。そこで四国渡航客を取り戻すために、下津井から国鉄線までの鉄道路線が計画されたのです。

会社設立には、塩田王として知られた野﨑家、回船業や醸造業を営んでいた永山家をはじめとした児島・下津井の有力者らや、下津井の対岸の丸亀の有力者らの出資や用地提供を受け、これにより、1911 年に下津井軽便鉄道会社を設立、全線の建設工事を着工しました。

ところが、終端に当たる琴海 - 鷲羽山付近に大規模な岩盤開削工事が難航し、野﨑家が本拠を構える児島までの早期開業が要請されました。これに応じて茶屋町 - 味野町間 14.5km が 1913 年に先行開業し、翌 1914 年に味野町 - 下津井間 6.5km が開業して茶屋町 - 下津井間 21.0km が全通しました。味野町駅は後の児島駅にあたります。

大正時代の終わりには、児島周辺で繊維産業が発達し客貨共に輸送量が増大しました。そこで蒸気列車とガソリン動力による車両の併用運転を開始し、鷲羽山駅が増設されました。駅名改称などを行い、多くの地域住民の交通手段として活躍し、女子鉄道ガイドもこの時期に登場しました。

戦後間もなく全線電化工事を行い、電気・蒸気の併用運転を開始しました。汽車から電車へと変わり、大幅に時

間短縮がされ、地元住民の便利な交通手段になりました。風光明媚な鷲羽山への観光客増加も手伝って、昭和 30 年代に全盛期を迎えました。

1970 年代以降、児島地域から岡山・倉敷へは乗り換えの必要がなく所要時間も短いバスの利用客が増え、それまで年間 200‐250 万人前後で推移していた下津井電鉄線の利用客数は 1970 年代初頭には 150 万人前後にまで急減しました。1972 年 3 月末限りで茶屋町 ‐ 児島間 14.5km が廃止された。

残存区間では、ワンマン運転、下津井駅以外の全駅を無人化という徹底的な合理化を行い、車両も手のかからない新造車を中心に 6 両のみを残して後はすべて廃車、鉄道部門は従業員 10 人のみで運営を行ったそうです。その結果、鉄道の赤字をバス事業などの他の事業で補填できる額まで減らすことができました。

また、映画やテレビドラマのロケーション協力を積極的に進め、映画『悪霊島』では東下津井駅舎が使用され、テレビ朝日系で放映された『西部警察 PART-III』の岡山・香川ロケ、関西テレビ製作の『裸の大将放浪記』のロケ、テレビ朝日制作の土曜ワイド劇場等をはじめとしたサスペンスドラマや 2 時間ドラマなどのロケで使用されました。

瀬戸大橋開通を機に、橋にほど近い下津井電鉄では観光鉄道への転身を図り、奇抜なメルヘン調レトロデザインの冷房付展望電車を導入しましたが、観光客を呼び寄せることが出来ず、JR の瀬戸大橋線が児島 ‐ 岡山間をわずか 30 分で結ぶようになると、自社バス部門の高収入路線であった児島 ‐ 岡山線の乗客も減り、鉄道の赤字を埋めることが出来なくなりました。そうして全線廃止となったのです。

廃線跡は 1972 年の部分廃止時と 1991 年の残存区間の廃止時の 2 度に分けて倉敷市に譲渡され、その大部分が自転車道に転用されました。児島 ‐ 下津井間は通称「風の道」として整備されています。